

オフィスの覚え書き・合州国政府 (訳・伊藤 耕造)

宛先：F B I 長官 (100-364606)

日付：1953年 1 月 28 日

発信：サンディエゴの S A C (100-8382) [訳注. S A C = Special Agent in Charge [FBI] = F B I の特別エージェント]

この中に含まれるあらゆる情報は 機密扱いでない 日付 1982年5月14日 スピキュラー著

調査対象者：ジョージ・アダムスキー

安全保障上の重要性 - C [訳注. C = Confidential = 秘密]

O S I [訳注. O S I = the Office of Special Investigation [Air Force] = 空軍特別調査部]のエージェント [捜査官]の■■■■は1953年1月12日に、アダムスキーの名前の知らない友人からの電話を、受けた。そして、その友人は、「アダムスキーは、空中から『空飛ぶ円盤』と飛行機を引きずり降ろすことができる機械を、所有しています」と、通報した。アダムスキーの友人は、「アダムスキーは、{飛行機の飛行の}妨害の可能性のためにエージェントと会うことを望んでいます」と、述べた。■■■■は、これらの事実を1953年1月12日にサンディエゴの{F B Iの}オフィスに通報した。

パロマー山のふもとのパロマー・ガーデンズ・カフェのジョージ・アダムスキーは1953年1月12日に、O S I [空軍特別調査部]のS A [S A = Special Agent (スペシャル・エージェント) = 特別捜査官]の■■■■と、F B I [F B I = the Federal Bureau of Investigation = 連邦捜査局]のS Aの■■■■■■■■■■によって、インタビューされた。

アダムスキーは、「私は、■■■■と■■■■■■■■■■という名前の2人の男性と共に『空飛ぶ円盤』にずっと取り組んでいます」と述べた。彼 [アダムスキー] はさらに、「1953年1月12日の朝に■■■■ [訳注. G・A著の「MY FIGHT WITH THE SILENCE GROUP」によれば、Karl Hunrath (カール・ハンレース)] は、『空飛ぶ円盤や飛行機を引きずり降ろすであろう機械を郵便を通じて、私、■■■■は、受け取っている』と、私 [アダムスキー] に告げました」と、通報した。アダムスキーによれば、今までのまだ届いていないこの機械は、「磁力線をカットする」という原理に基づいて作動する。アダムスキーは、「私は、その機械が、{アメリカ}合州国に所属している飛行機を引きずり降ろすかどうかを、■■■■ [訳注. カール・ハンレース] にたずねましたが、■■■■は、『その通りだ』と返答しました」と述べたが、それは、ある意味では、彼 [返答したその人物] が、合州国に対して友好的でないかもしれないことを、指摘していた。

アダムスキーは、「合州国の飛行機を引きずり降ろすことについての私の不快を、私が■■■■ [訳注. カール・ハンレース] に対して指摘した時、■■■■は怒り出しました。そして、彼と■■■■■■■■■■ [訳注. Jerrold Baker (ジェロルド・ベーカー)] は、彼らの所持品を荷造りして、その所持品を■■■■の車 (緑のクロスリーのステーションワゴンで、ウィスコンシン州のナンバープレート #■■■■を付けている) の中に積み重ねました。そして、カリフォルニア州ロスアンジェルスの方へ向かいました」と、述べた。彼らの目的地は、アダムスキーによれば、アダムスキーにとって未知であった。

アダムスキーは、「私は、■■■■が合州国に対して忠実でない、とさらに疑ったのです。なぜならば、■■■■は、■■■■■■■■■■の親友だからです」と、述べた。アダムスキーは、「■■■■■■■■■■は、空飛ぶ円盤に関心があって、私と文通していました。そして、■■■■■■■■■■が

合州国政府に対して全く忠実でないことを、私、アダムスキーに対して指摘した多数の手紙を、■■■■は書きました」と、通報した。アダムスキーは、■■■■が忠実でない態度であると彼が信じている証拠として、その手紙（複数）を与えたが、それらの手紙は、FBI〔連邦捜査局〕とクリーブランド〔訳注．米国オハイオ州北部の工業都市・港〕（そのオフィス）に同封されている。

アダムスキーは、「私は、約1年間、■■■■と定期的に文通しています」と、通報した。しかし、アダムスキーは、「私が彼と決して会ったことがないという事実のために■■■■について、私はほとんど全然知りません。そして、■■■■は、彼の手紙（複数）の中で彼自身について決してたくさん告げませんでした」と、通報した。アダムスキーは、「私は、■■■■からの手紙を、以下の住所から受け取りました」と述べた。

■■■■ アベニュー
オハイオ州、キャムベル

■■■■ アベニュー
オハイオ州、クリーブランド

アダムスキーは、「私は、おおよそ1951年3月12日以来■■■■と文通してきました。そして、1952年12月30日に■■■■は、パロマー・ガーデンズに現われて、『私は、あなた〔アダムスキー〕と働きたい』と、私に告げました」と、通報した。アダムスキーは、「■■■■は、ある教えを与えている■■■■の声を録音したテープレコーダーを持って来ました。そして、■■■■はまた、いくつかの道具も持って来ました」と述べた。

アダムスキーは、「■■■■〔訳注．Wilkinson（ウィルキンソン）？〕は以前、インディアナ州のオスター工場に雇われていましたが、そこを解雇されました」と、述べた。アダムスキーは、■■■■の以下の人相を与えた。

年齢	:	35歳
身長	:	5フィート9インチ〔約175.3 cm〕
体重	:	180ポンド〔約81.65 kg〕
目	:	ブルー
髪の毛	:	ブロンド；薄茶色
顔	:	細長
顔色	:	色白
傷跡	:	なし
人種	:	ドイツ人
特性	:	パイプでたばこを吸う。「やあ」－「やあ」と言う。

弟〔または兄〕 : ■■■■■■■■■■
 住所 : ニューヨーク州、ラッカワナ
 弟〔または兄〕 : ■■■■■■■■■■
 住所 : ニューヨーク州、ダンカーク
 合州国に入った時 : 1893年ニューヨーク州を通じて入国
 1913年～1916年 : 合州国陸軍 第13カルバリ、
 「K」騎兵中隊に入隊した。
 ニューメキシコ州のコロンバスに配置された。
 職業 :
 1916年 : イエローストーン国立公園
 (政府のために公園を担当する、
 ペンキ屋だった)
 1918年 : 合州国の陸軍ルイス野営陣地に行った。
 そして、州兵に入隊した。
 そして、9カ月間オレゴン州ポートランドに
 配置された。
 1918年 : オレゴン州ポートランドの製粉工場で働いた
 1921年 : カリフォルニア州にやって来た。
 そして、カリフォルニア州ロスアンジェルスで
 コンクリート・ビジネスに従事した。
 1926年 : 哲学の講演を始めた
 教育 : 単科大学程度の教育を受けなかった。
 &「教授」の肩書きは、ニックネーム[nick-name]
 だった。
 結婚の状態 : 結婚した
 妻 : メリー・アダムスキー、未婚時の姓ーシンバスキー
 住所 : パロマー・ガーデンズ・カフェ
 子供 : いない
 身長 : 5フィート8インチ [約172.7 cm]
 体重 : 171ポンド [約77.56 kg]
 髪の色 : グレー [灰色]
 目 : ブラウン [茶色]、右目が白内障
 顔色 : 血色が良い
 体格 : 中くらい
 傷跡 : ヘソの3インチ [約 7.6cm] のきず [訳注. すじ]
 特性 : よく話す。友好的である。スピーチの時に「th」
 [訳注. 上と下の前歯で舌の先を嚙(か)んで発音
 する「ス」]を、発音できない。

